



東京工芸大学・風工学共同研究拠点・研究集会（2014年3月7日）のご案内

在室者の覚醒状態および生産性を向上させる 省エネ型室内環境制御法に関する研究集会

従来、地球環境負荷の低減および省エネルギーの観点から、政府等により空調設定温度の緩和（夏季 28℃，冬期 20℃）が呼び掛けられてきたが、東日本大震災以降の原子力発電所の停止により節電の観点からも、益々強く要請されるようになってきている。一方で、オフィスにおいてそのような空調温度の緩和を行った場合には、執務者の快適性が低下するのみならず、生産性をも低下させてしまう可能性が高い。

この研究集会では、生産性の向上と省エネルギーとの両立の問題や、これを解決する上での非定常環境の可能性について情報交換を行い、今後の室内環境制御の方向性などについて議論する。奮ってご参加頂き、活発なご意見をお寄せ頂ければ幸いです。

と き： 2014年3月7日（金）13:00～14:45

ところ： 東北大学 青葉山キャンパス 総合研究棟 11階セミナー室

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-11

仙台駅前西口バスプール 9 番乗り場から工学部経由動物公園循環，宮教大，青葉台，成田山行きに乗車，「工学部中央」で下車。（約 20 分）

<http://www.eng.tohoku.ac.jp/map/?menu=campus&area=c&build=10>

問合先： 東北大学大学院 工学研究科 都市・建築学専攻 准教授

後藤伴延 tel: 022-795-7885 e-mail: t-goto[at]sabine.pln.archi.tohoku.ac.jp

プログラム（仮）

- | | |
|---------------|---|
| 13:00 - 13:05 | 開会挨拶，趣旨説明
後藤 伴延（東北大学） |
| 13:05 - 13:25 | 室内環境が在室者の覚醒状態および作業効率に及ぼす影響
後藤 伴延（東北大学） |
| 13:25 - 13:40 | 室温の上昇・下降が在室者の覚醒状態に及ぼす影響
柳田 祐里（東北大学） |
| 13:40 - 14:05 | 通風環境における人体温熱特性と気持ち良さ評価
森上 伸也（東京工芸大学） |
| 14:05 - 14:20 | 通風環境における人体周りの対流熱伝達特性について
塚本 健二（東京工芸大学） |
| 14:20 - 14:40 | ディスカッション |
| 14:40 - 14:45 | 閉会挨拶
後藤 伴延（東北大学） |

【青葉山キャンパスまでの交通のご案内】

タクシーご利用の場合 所要時間：約 20 分 料金：約 1500 円

バスご利用の場合 仙台駅前西口バスプール 9 番乗り場から
工学部經由動物公園循環，宮教大，青葉台，成田山行き
に乘車，「工学部中央」で下車。
所要時間：約 20 分 料金：220 円

【キャンパスマップ】

会場：総合研究棟 11 階セミナー室

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-11

